

8-1 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動（2018年11月～2019年4月） Seismic Activity in and around the Kinki, Chugoku and Shikoku Districts (November 2018–April 2019)

気象庁 大阪管区気象台
Osaka Regional Headquarters, JMA

今期間、近畿・中国・四国地方とその周辺でM4.0以上の地震は14回、M5.0以上の地震は5回発生した。このうち規模が最大の地震は、2018年11月2日に紀伊水道、2019年3月27日に日向灘で発生したM5.4の地震であった。

2018年11月～2019年4月のM4.0以上の地震の震央分布を第1図(a)及び(b)に示す。
主な地震活動は以下のとおりである。

(1) 紀伊水道の地震（最大M5.4，最大震度4，第2図）

2018年11月2日16時53分に紀伊水道の深さ44kmでM5.4の地震（最大震度4）が発生した。また11月5日にも紀伊水道の深さ45kmでM4.6の地震（最大震度3）が発生した。これらの地震は、発震機構がいずれも東北東－西南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、いずれもフィリピン海プレート内部で発生した。

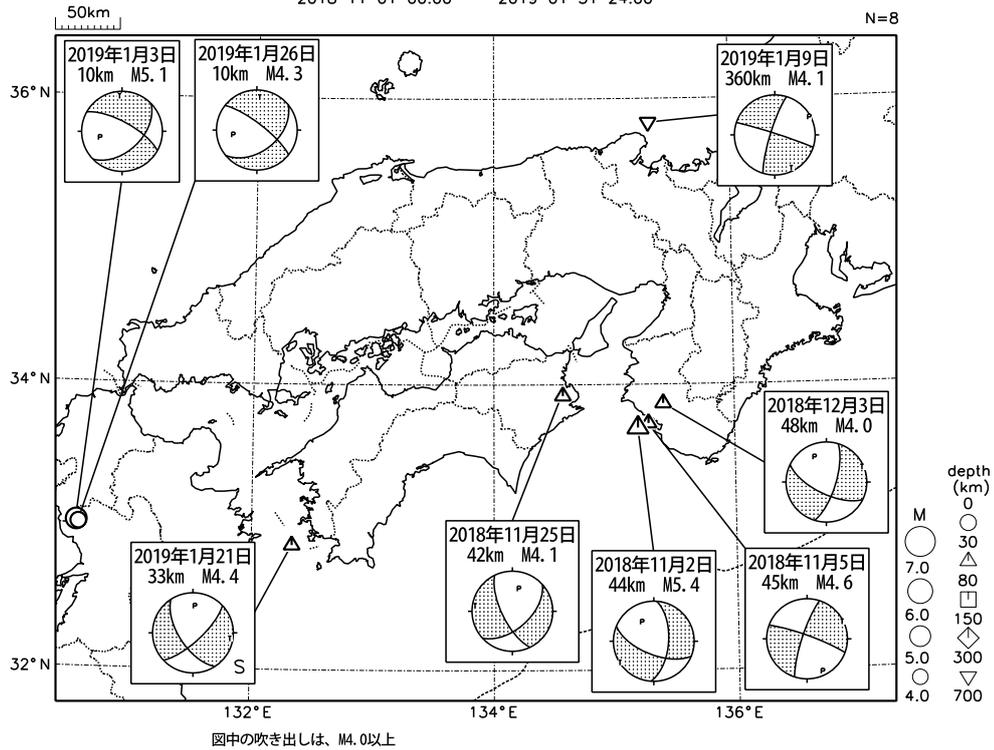
(2) 愛媛県南予の地震（M4.6，最大震度3，第3図）

2019年3月11日15時37分に愛媛県南予の深さ38kmでM4.6の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構は東北東－西南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

(3) 紀伊水道の地震（M5.3，最大震度4，第4図）

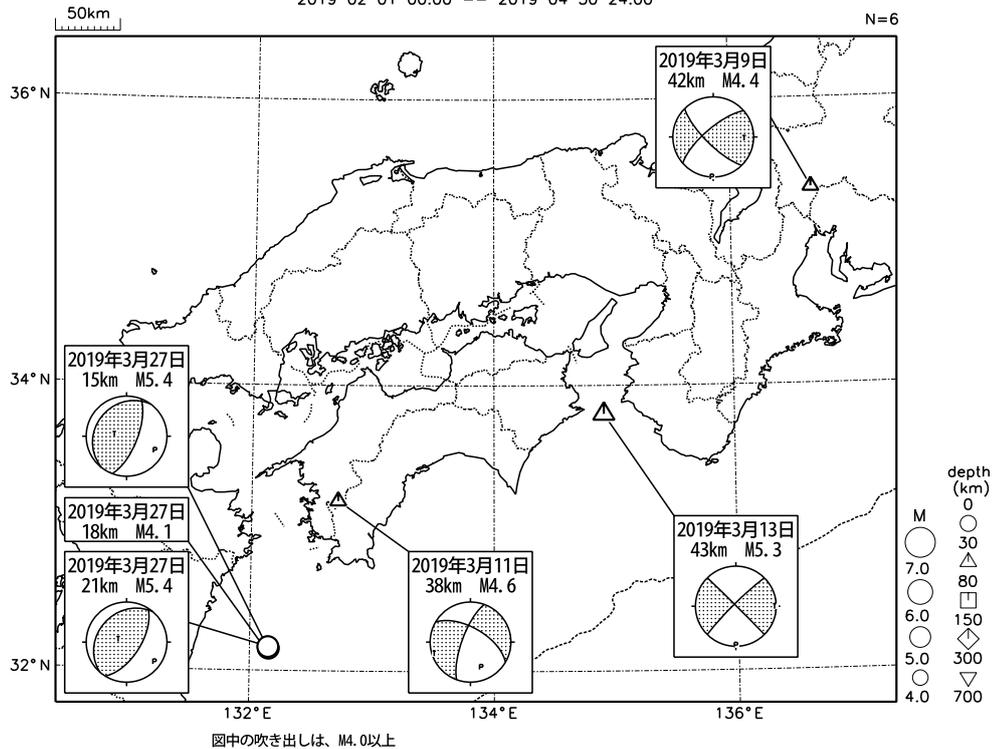
2019年3月13日13時48分に紀伊水道の深さ43kmでM5.3の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動(2018年11月~2019年1月、 $M \geq 4.0$)
2018 11 01 00:00 -- 2019 01 31 24:00



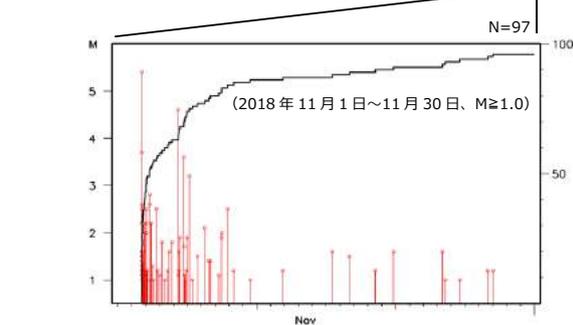
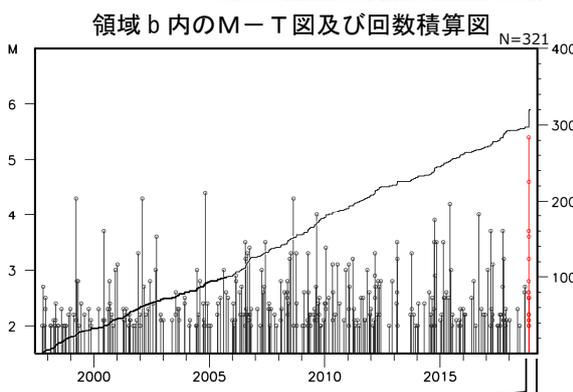
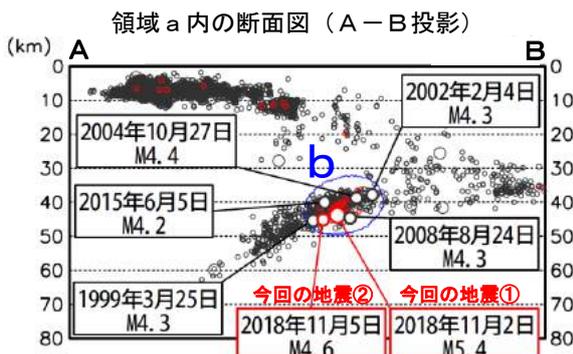
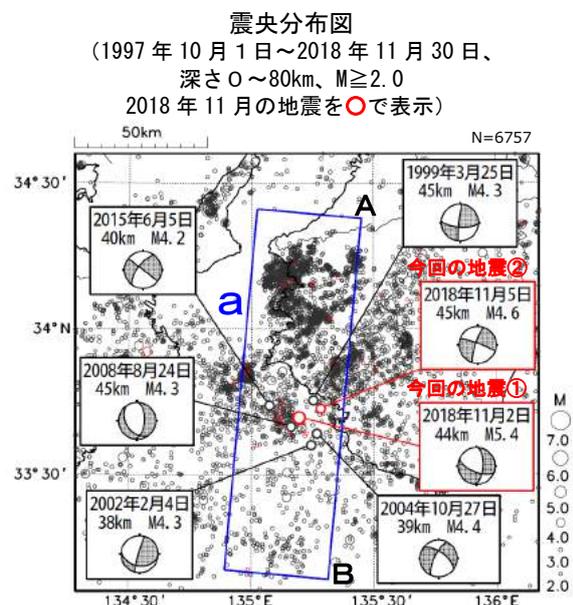
第1図(a) 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動 (2018年11月~2019年1月, $M \geq 4.0$, 深さ ≤ 700 km)
Fig. 1(a) Seismic activity in and around the Kinki, Chugoku and Shikoku districts (November 2018 – January 2019, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km)

近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動(2019年2月~4月、 $M \geq 4.0$)
2019 02 01 00:00 -- 2019 04 30 24:00



第1図(b) つづき (2019年2月~4月, $M \geq 4.0$, 深さ ≤ 700 km)
Fig. 1(b) Continued (February – April 2019, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km)

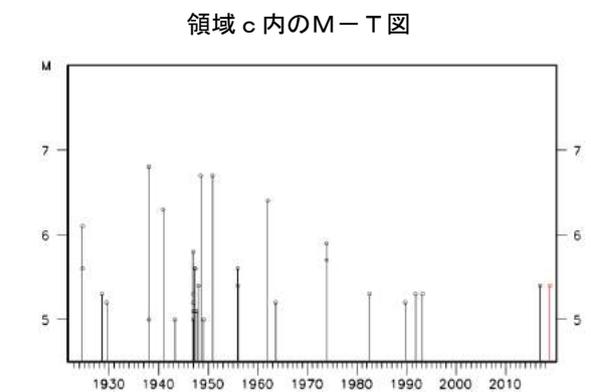
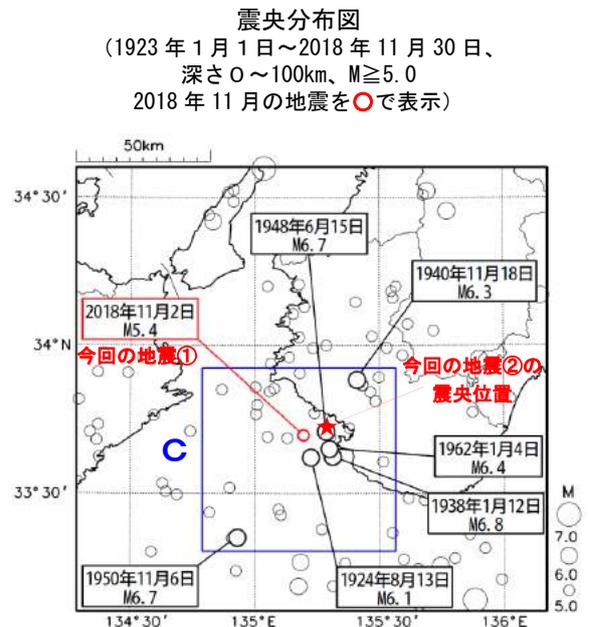
11月2日、5日 紀伊水道の地震



2018年11月2日16時53分に紀伊水道の深さ44kmでM5.4の地震(最大震度4)が発生した(今回の地震①)。また11月5日にも紀伊水道の深さ45kmでM4.6の地震(最大震度3)が発生した(今回の地震②)。これらの地震は、発震機構がいずれも東北東-西南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

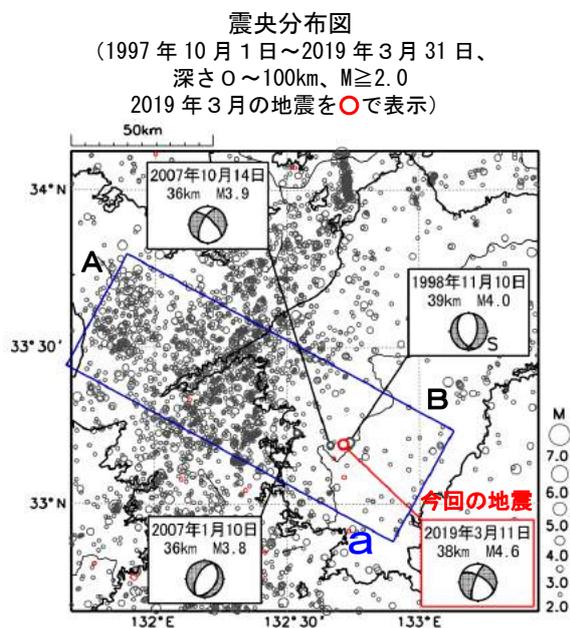
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0以上の地震が時々発生しているが、M5.0以上の地震は今回の地震①が初めてであった。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1938年～1962年にM6.0以上の地震が時々発生していた。このうち1948年6月15日に発生したM6.7の地震では、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。



第2図 2018年11月2日、5日の紀伊水道の地震
Fig. 2 The earthquakes in the Kii Channel on November 2 and 5, 2018.

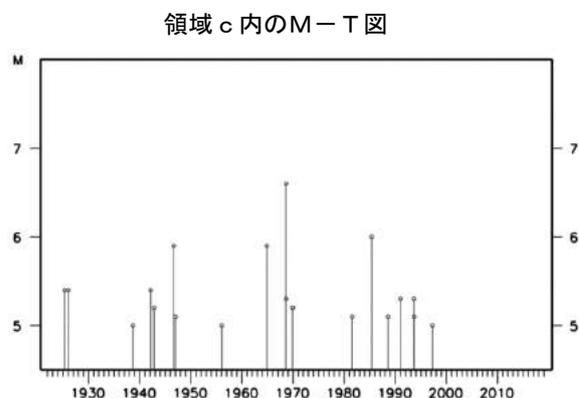
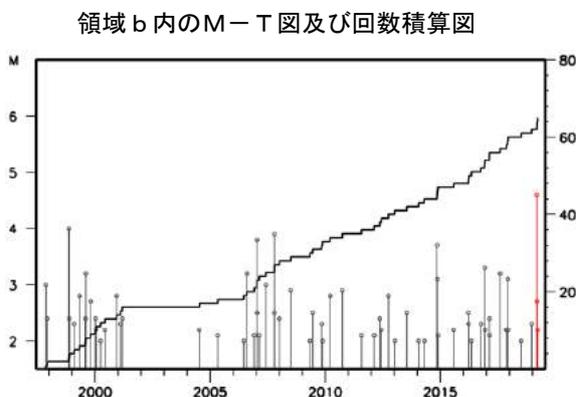
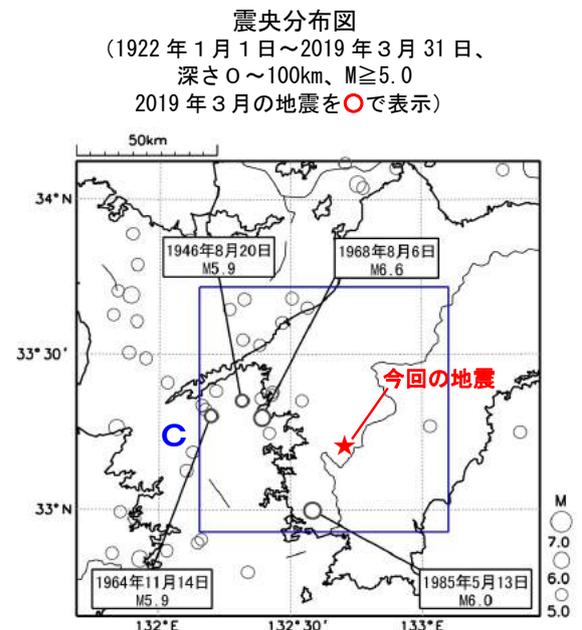
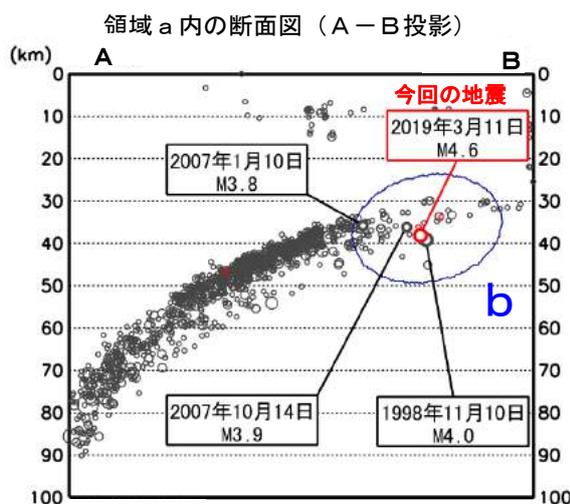
3月11日 愛媛県南予の地震



2019年3月11日15時37分に愛媛県南予の深さ38kmでM4.6の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構が東北東-西南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は、M4.0程度の地震は時々発生しているものの、プレートのより深い部分に比べ地震活動が活発な領域ではない。

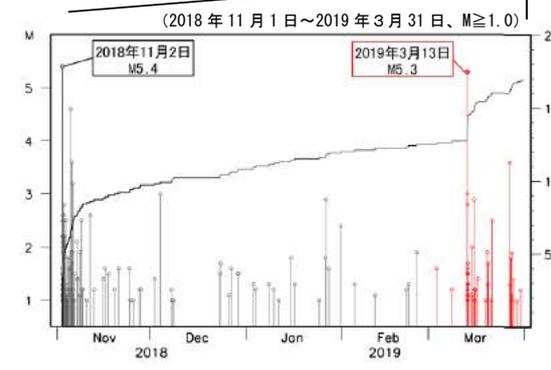
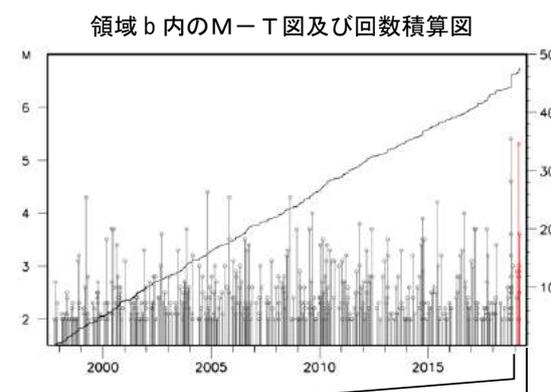
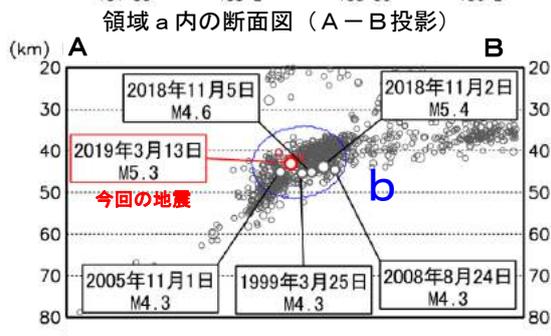
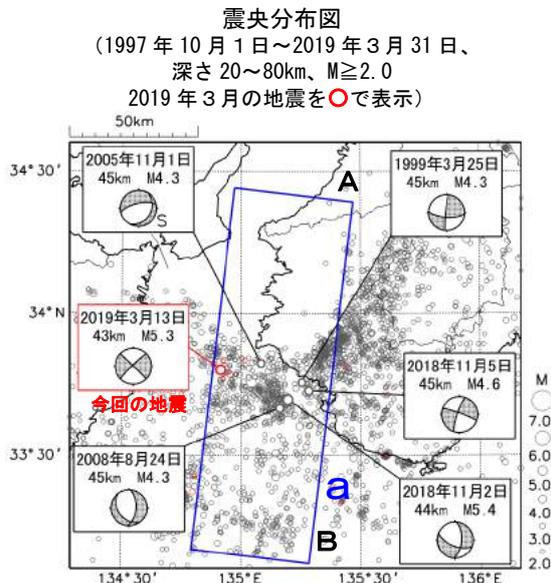
1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0程度の地震が時々発生している。1968年8月6日に発生したM6.6の地震(最大震度5)では、愛媛県を中心に負傷者22人、また宇和島の重油タンクのパイプ破損により重油170klが海上に流出するなどの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。



第3図 2019年3月11日の愛媛県南予の地震

Fig. 3 The earthquake in Nanyo region, Ehime Prefecture on March 11, 2019.

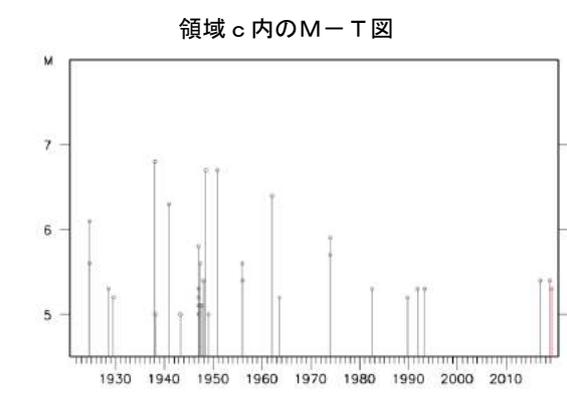
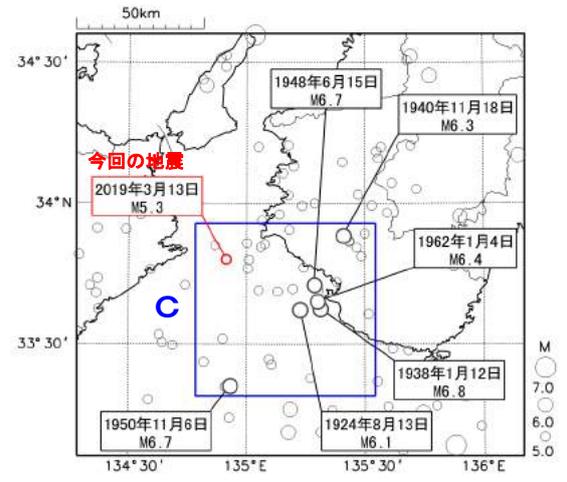
3月13日 紀伊水道の地震



2019年3月13日13時48分に紀伊水道の深さ43kmでM5.3の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。今回の地震発生後、震源周辺でややまとまった地震活動がみられた。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0以上の地震が時々発生しており、2018年11月2日には、M5.4の地震(最大震度4)が発生している。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1938年～1962年にM6.0以上の地震が時々発生していた。このうち1948年6月15日に発生したM6.7の地震では、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。



第4図 2019年3月13日の紀伊水道の地震
Fig. 4 The earthquake in the Kii Channel on March 13, 2019.